

# 第 1 章 概要

## 第1章 概要

### (1) 調査目的

1998年3月に策定された「宇部市環境基本計画」は、策定より10年を経過し、この間には国の環境基本計画や環境法令が変わり、また、2004年11月に隣接する厚狭郡楠町と合併したため、宇部市全域を対象として現状に即した新たな「宇部市環境基本計画」の策定が必要となった。

本調査は、楠地域の保全すべき自然を明らかにし、今後の自然環境の保全のための基礎資料とするため、新しい「宇部市環境基本計画」の策定に合わせて実施したものである。

### (2) 調査対象

今回の調査は、2年間にわたる調査について、楠地域を北部・南部の2地域におよそ区分し、以下の分野ごとに調査を実施した。

地形及び地質の状況

植生と植物相の状況

昆虫の生息状況

淡水魚類の生息状況

鳥類の生息状況

哺乳類、爬虫類、両生類の生息状況

### (3) 調査期間

調査期間は、2006年4月から2008年3月までの2年間とし、2008年度はこれらの調査結果をもとに本報告書の作成を行った。

### (4) 調査者

#### 宇部自然環境調査研究会

調査者氏名	所属・役職	担当分野
島 徹史	山口大学名誉教授	第2章 地形・地質
末広 雄次	宇部自然保護協会副会長	第3章 植物
後藤 和夫	日本鱗翅学会評議員	第4章 昆虫
竹下 直彦	独立行政法人水産大学校講師	第5章 淡水魚類
原田 量介	宇部野鳥保護の会副会長	第6章 鳥類
村田 満	学校法人山口高川学園 高川学園高等学校教諭	第7章 哺乳類・爬虫類・両生類

協力者

中西 淳	管 哲郎	田中 馨
岡村 元昭	繁里 昇	

( 5 ) 報告書の編集

報告書の編集に当たっては、宇部自然環境調査研究会（会長：島敬史）の各分野の専門家に調査を委託し、第2章から第7章までについて、各分野の調査者から提出された調査結果及び意見、提言などの報告書をもとにとりまとめたものである。